

増刊

実験医学増刊2022年Vol. 40 No. 12

再定義されるセントラルドグマの常識 (仮題)

編集／田口英樹（東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター），
小林武彦（東京大学 定量生命科学研究所附属生命動態研究センター），
稲田利文（東京大学 医科学研究所 基礎医科学部門 RNA制御学分野）

関連キーワード・技術

- ◆ DNA ◆ RNA ◆ タンパク質 ◆ 転写 ◆ 翻訳 ◆ de novo遺伝子誕生
- ◆ 染色体構造 ◆ DNA特殊構造 ◆ ゲノム合成 ◆ エンハンサー
- ◆ エピトランスクリプトーム ◆ RNA編集 ◆ 相分離 ◆ 非ATG翻訳
- ◆ AlphaFold ◆ クライオ電顕 ◆ 天然変性タンパク質 ◆ プロテオスタシス

おかげさまで「実験医学」は本号で通巻700号を迎えます。記念すべき本号では、スペシャル企画として「生命の中心教義（セントラルドグマ）にまつわる物質（DNA, RNA, タンパク質）と過程（転写, 翻訳）」を中心に、各分野における「再定義された（されつつある）常識」を読者にお届けしたいと考えています。近年、研究分野が細分化し、さらに情報に溢れかえたことで、特に基礎的な研究においては重大なトピックスをキャッチすることが難しくなっていると伺います。学生時代にだれもが教科書で学ぶセントラルドグマについて、その「新常識」を1冊にまとめることで、研究者のみならず生命科学を学ぶ学生や生物を教える教員なども含めた幅広い読者にとって有益な情報のアップデートをご提供できるのではと考えております。

本書へのご出稿のポイント

- 本号は実験医学通巻700号の記念特集！
「保存版」的に長く読んでいただける内容を目指します
- 生命科学全般の研究者・教育者の読者が見込まれます

広告料金・掲載概要

ページ広告

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	330,000
表紙3	4色	1P	220,000
	1色	1P	165,000
表紙2	4色	1P	275,000
	1色	1P	187,000
中付 [※] (記事中)	4色	1P	165,000
	1色	1P	121,000
後付	4色	1P	165,000
	4色(ブリード)	1P	181,500
	1色	1P	99,000
	1色	1/2P	60,500
差込		1枚	220,000
タイアップ広告 (記事広告)	4色	2P	掲載費 330,000 編集費 88,000

※写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます
 ※ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます
 ※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)
 ※表示価格は10%税込の価格です

広告内容に関して

原則、下記の広告掲載を承っております。詳細はお問い合わせください

- 使用を研究用途にのみ限っている製品・サービス
- 診察・検査・診断・治療またはそれに類する、保険適用された製品・サービス
・医療機器の場合、医療機器届出番号・製造承認番号の取得のみでは承りかねます
- 弊社が広告掲載をお受けした機関の告知など

発行概要

- **発行部数** 6,000部
- **発行日** 2022年 7月 20日 (水) 発行予定
- **発行形態** B5判, オフセット印刷
- **広告締切** 申込締切: 2022年6月6日 (月)
 原稿締切: 2022年6月13日 (月)
※日程を延期する可能性がございます
 ※事前に掲載内容を確認させていただく場合がございます
- **広告仕様** 1頁……………天地220mm × 左右150mm
 1頁ブリード版……………天地257mm × 左右182mm
 表紙4……………天地192mm × 左右150mm
 表紙4ブリード版……………天地202mm × 左右160mm
 1/2頁……………天地105mm × 左右150mm
- **記事広告** ①**貴社にて完成原稿をご用意いただく場合**
 広告上部(右上など)に『PR記事』の旨をご明記ください。左記編集費(2P 88,000円)は発生いたしません。
 ②**弊社で製作する場合**
 貴社でご用意いただく原稿をもとに製作します(掲載費+編集費を申し受けます)。詳細はお問い合わせください。

原稿製作に際して

- Adobe社の製作ソフト(Illustrator等, ver.2021まで対応可)にてご製作のうえ、EPSもしくはPDFにてご納品ください。また、使用したOS・ソフトのバージョンをお知らせください
- テキストは完全アウトライン化し、カラー形式はCMYKにご設定ください(モノクロの場合はk版のみで制作、もしくはグレースケール化)
- 写真や図版は元ファイル(リンクファイル)を同送もしくは埋込処理ください
- ブリード版(裁ち落とし)は広告4辺に塗り足し+3mmをご用意ください
- トンボ等を用いて仕上がりサイズをご指示ください
- “オーバープリント設定”にご注意ください(設定次第でテキストやオブジェクトに意図せぬ色の変化や消失が起こる可能性があります)
- 原稿修正をご要望の際、費用が発生する場合がございます

【発行元】

株式会社 羊土社

〒101-0052
 東京都千代田区神田小川町2-5-1
 TEL:03-5282-1211 FAX:03-5282-1212
 URL: www.yodosh.co.jp/

【広告総代理店】

株式会社 エー・イー企画

〒101-0003
 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4F
 TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479
 E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、「実験医学増刊2022年 (Vol. 40 No. 12) 再定義されるセントラルドグマの常識」に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地: 〒 _____

担当者名: _____ 所属: _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____



- 序文 田口英樹（東京工業大学）
概論 田口英樹（東京工業大学）、小林武彦（東京大学）、稲田利文（東京大学）

第1章 DNAの新常識

1. de novo 遺伝子誕生 岩崎 渉（東京大学）
2. 染色体のダイナミクス
: DNA の折りたたまれ方の新常識 西山朋子（名古屋大学）
8. クロマチンと相分離（相分離①） 前島一博（国立遺伝学研究所）
3. ゲノム立体構造の発生変化
（DNA 複製動態など） 平谷伊智朗（理化学研究所）
4. ゲノム修復・不安定性の新常識
（NER など） 菅澤 薫（神戸大学）
5. ゲノム複製の新常識
（DNA ポリメラーゼ動態、複製ストレス応答など） 大学保一（東北大学）
6. グアニン四重鎖構造 正井久雄（東京都医学総合研究所）
7. 長鎖 DNA 合成と生物の創生 末次正幸（立教大学）

第2章 転写の新常識

1. クロマチン構造と転写 胡桃坂仁志（東京大学）
2. Pol II 動態の新常識
（ポーシング・バースト） 高橋秀尚（横浜市立大学）
3. エンハンサーの新常識 深谷雄志（東京大学）
4. lncRNA・eRNA による転写制御 斉藤典子（がん研究会がん研究所）
5. 非コード領域による転写制御 堀江健生（筑波大学）
7. 非コードの転写活性と細胞老化 小林武彦（東京大学）

第3章 RNAの新常識

1. RNA 修飾の多様な機能
: RNA エピトランスクリプトームの新世界 鈴木 勉（東京大学）
2. RNA 編集
: 生理的な働きと遺伝子改変技術への応用 河原行郎（大阪大学）
3. RNA 病の新常識とスプライシング制御による創薬 武内章英（愛媛大学）

4. RNA 構造の機能と応用
: ライブラリーや構造予測ツールなども含め…………… 齊藤博英 (京都大学)
5. mRNA 分解機構の新常識
: mRNA 安定性制御機構と免疫応答、mRNA 医薬まで
…………… 竹内 理 (京都大学)
7. 相分離に関わる RNA (相分離②)
: 分子スポンジとして働く lncRNA …………… 廣瀬哲郎 (大阪大学)

第 4 章 翻訳の新常識

1. 非典型的な翻訳
: ATG (AUG) に依らない翻訳開始の普遍性と病気との関わり (RAN 翻訳) まで
…………… 浅野 桂 (カンザス州立大学/広島大学)
2. 翻訳速度の調節
: 新生ポリペプチド鎖が制御する翻訳動態 …………… 千葉志信 (京都産業大学)
3. ノンコーディング RNA からの翻訳
: 未開拓タンパク質の世界 …………… 岩崎信太郎 (理化学研究所)、松本有樹修 (九州大学)
4. リボソームの新常識
: 翻訳の品質管理という概念 …………… 稲田利文 (東京大学)
5. リボソーム・翻訳因子の立体構造の新常識
(RNA とタンパク質の擬態なども) …………… 伊藤拓宏 (理化学研究所)

第 5 章 タンパク質の新常識

1. タンパク質フォールディングの新常識
: Anfinsen のドグマからシャペロン、アミロイドまで
…………… 田口英樹 (東京工業大学)
2. 構造生物学の新常識
: 構造情報が生命科学にもたらすもの、近年のクライオ電顕の台頭を中心に
…………… 稲葉謙次 (東北大学)
3. タンパク質立体構造予測の新常識
: AlphaFold の衝撃 (MD 革命の David Shaw の話題も)
…………… 木原大亮 (パデュー大学)
4. de novo デザインタンパク質
: 生物が持たないタンパク質を設計できる時代…………… 古賀信康 (分子科学研究所)
5. タンパク質の液-液相分離 (相分離③)
…………… 野田展生 (北海道大学)
7. 構造を取らないタンパク質 (天然変性タンパク質)
…………… 太田元規 (名古屋大学)
6. 細胞内タンパク質動態の新常識
: 「タンパク質の一生」から「プロテオスタシス」へ
…………… 永田和宏 (京都産業大学/JT 生命誌研究館)